

# 難関資格合格 努力実る

半田商高の山本さん、松永さん



半田商業高校(半田市白山町)の山本光夏さん(一〇)

情報処理科二年が応用情報技術者試験に、松永優希さん(二〇)が経理科三年が日本商工会議所(日商)

簿記検定一級にそれぞれ合格した。いずれも難関で、

一人の将来の活躍が期待さ

れる。

情報技術者試験は経済産

業省が実施している国家試験で、難易度が非常に高く、基本と応用の二種類。基本は選択肢や語群から解答を選べるが、応用は記述

もあり難易度が高い。山本さんはコンピュータ

一部に所属し、毎日試験に向けて勉強を続けてきた。一年生の夏に基本を取得し、その後も応用の過去問を二、三回解くなどして努力を続けた結果、合格に結び付いた。「不安だったけれど合格できてうれしい」。四月からは大手ガラスメーカーに就職が決まっている。「培った知識をネットワーク系の部門で生かしたい」と意気込んだ。

日商簿記検定一級に合格した松永さん(左)と応用情報技術者試験に合格した山本さん(右)半田市の半田商業高で

試験前には「寝たり、お風呂に入る時間以外はずっと勉強していた」という。松永さんは現在就職活動中。「資格を生かして税理士事務所で働きながら、税理士の勉強も続けたい」と話した。

(垣見窓佳)

一部に所属し、毎日試験に向けて勉強を続けてきた。一年生の夏に基本を取得し、その後も応用の過去問を二、三回解くなどして努力を続けた結果、合格に結び付いた。「不安だったけれど合格できてうれしい」。四月からは大手ガラスメーカーに就職が決まっている。「培った知識をネットワーク系の部門で生かしたい」と意気込んだ。

松永さんが合格した簿記

一級は毎回の合格率が10%前後に調整される難関。松永さんは入学当初から簿記部に入部し、一年生の秋に二級に合格。その後一級に二回挑戦したが二回とも不合格に。一度目の挑戦に向けて専門学校に通い、試

験前には「寝たり、お風呂に入る時間以外はずっと勉強していた」という。松永さんは現在就職活動中。「資格を生かして税理士事務所で働きながら、税理士の勉強も続けたい」と話した。